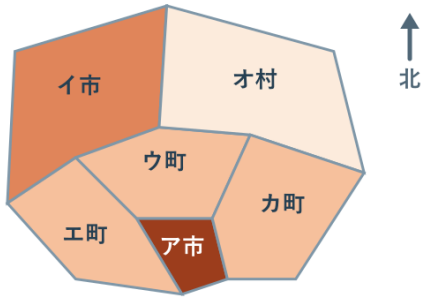
統計を地図に表す方法（塗り分けと記号の大きさ）

数の大きさを地図で表すとき、塗り分けと記号の大きさのどちらを使えばよいか

1 階級区分図

人口密度を、色の濃さで

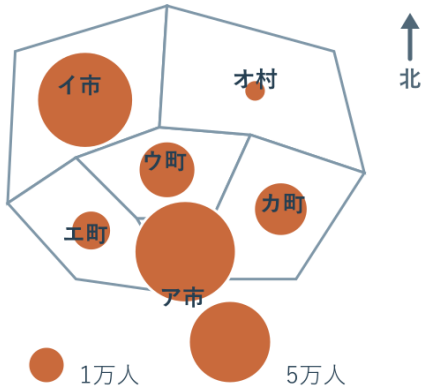


単位：人/km²。濃いほどこみあう

向いている数：割合・密度

2 図形表現図

人口を、円の大きさで

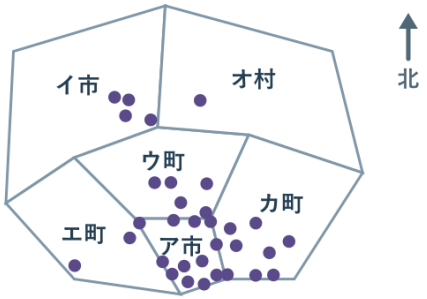


円の面積が人口に比例する

向いている数：量（人数・生産量）

3 ドットマップ

工場の分布を、点で



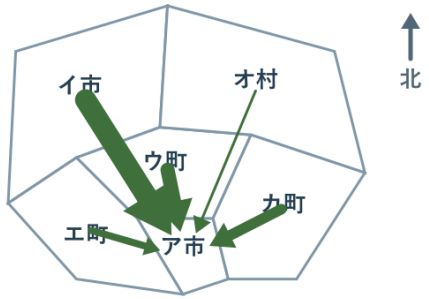
● 1点＝工場10か所

工場はア市とその周りに多い

向いている数：分布（どこにあるか）

4 流線図

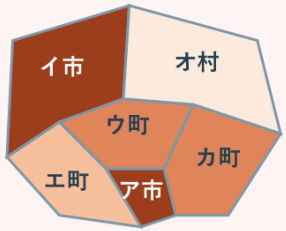
通勤する人の移動を、矢印の太さで



ア市へ通勤する人（1日）

向いている数：移動（人や物の動き）

✕ よくない例：人口（量）をそのまま塗り分けた地図



濃いほど人口が多い（4段階）

人口の多いイ市は面積も広いので、
県の多くの部分が濃く見え、人が
集まっている所のように見えてしまう。
人口密度でくらべると、①のとおり
ア市のほうがずっとこみあっている。

**→ 量は②の円の大きさで表し、
塗り分けは割合・密度に使う**

もとの統計（架空の県。数値は架空）

市町村	面積(km²)	人口(人)	人口密度	工場(か所)	ア市へ通勤
ア市	38	76,000	2,000	120	–
イ市	170	68,000	400	40	6,000
ウ町	96	24,000	250	50	4,000
エ町	100	12,000	120	20	2,000
オ村	180	3,600	20	10	500
カ町	120	21,600	180	80	3,000

人口密度＝人口÷面積（人/km²）。同じ表から①〜④の地図をつくった。

※ 模式図。県・市町村の形と数値はすべて架空。階級の区切り方も例。